

平成29年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には、前回から増加基調にある受注量は、堅調に推移している模様で、今後の受注見通しについても、全体的には、堅調な横ばい傾向となっているが、「増加」とする回答の割合が増えている反面、「減少」とする回答割合も増えている。今後は、材料費の値上がりが続いている為、受注単価に反映出来るか否かが、懸念される。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 前回に続き増加基調で推移しており、「減少」「やや減少」の回答割合が、近年では最も低い状況。
全7業種でDI値がプラスとなり、好調な横ばい傾向となっている。
- (2)受注見通し : 「減少」とする回答の割合が若干増加しているものの、「増加」とする回答の割合も増加し、近年では最も高い割合となっている。
- (3)受注単価 : 若干の改善が見られるものの「低下」とする回答も増加している。
材料費値上がり分を、受注単価上昇に反映出来なければ、採算状況に影響を与える。
- (4)資金繰り : 「好転」の回答が増加し、「不変」の回答が減少している。
「好転」+「不変」の回答が、近年では最も多くなっている。
- (5)採算状況 : 全体的には、前回に引き続き、黒字企業が増加し、近年では最多となっているが、赤字企業もわずかに増加している。
- (6)受注余力 : 前回に続き「受注余力なし」が増加傾向で、近年では最も高い割合となっている。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成29年10月～12月
(平成29年12月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

平成29年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

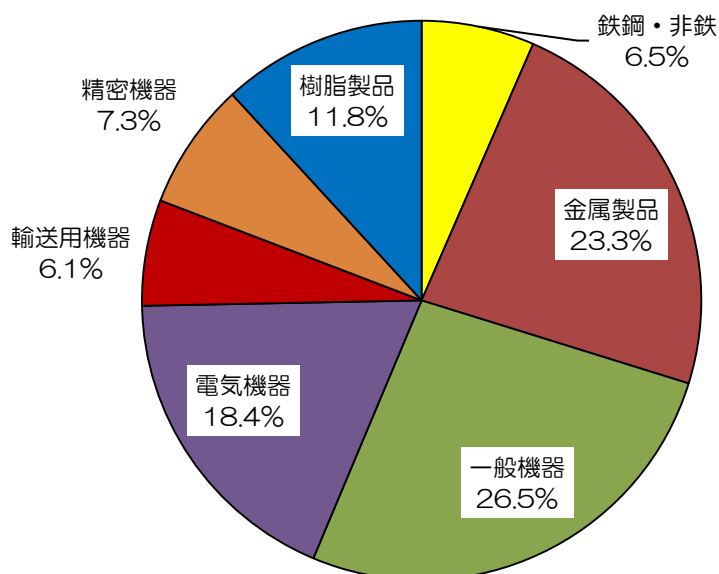
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	245社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	16社	(6.5%)	
金属製品関係	57社	(23.3%)	
一般機器関係	65社	(26.5%)	
電気機器関係	45社	(18.4%)	
輸送用機器関係	15社	(6.1%)	
精密機器関係	18社	(7.3%)	
樹脂製品関係	29社	(11.8%)	
④ 回答率	81.7%		[前回：80.7%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	9 3.7%	1 6.3%	1 1.8%		4 8.9%			3 10.3%
~300万円	14 5.7%		4 7.0%	1 1.5%	2 4.4%	2 13.3%	2 11.1%	3 10.3%
301~999万円	10 4.1%		3 5.3%	4 6.2%		1 6.7%		2 6.9%
1000~2000万円	136 55.5%	8 50.0%	37 64.9%	40 61.5%	24 53.3%	3 20.0%	10 55.6%	14 48.3%
2001~5000万円	59 24.1%	5 31.3%	12 21.1%	17 26.2%	12 26.7%	3 20.0%	4 22.2%	6 20.7%
5000万円超	17 6.9%	2 12.5%		3 4.6%	3 6.7%	6 40.0%	2 11.1%	1 3.4%
合 計	245 100%	16 100%	57 100%	65 100%	45 100%	15 100%	18 100%	29 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

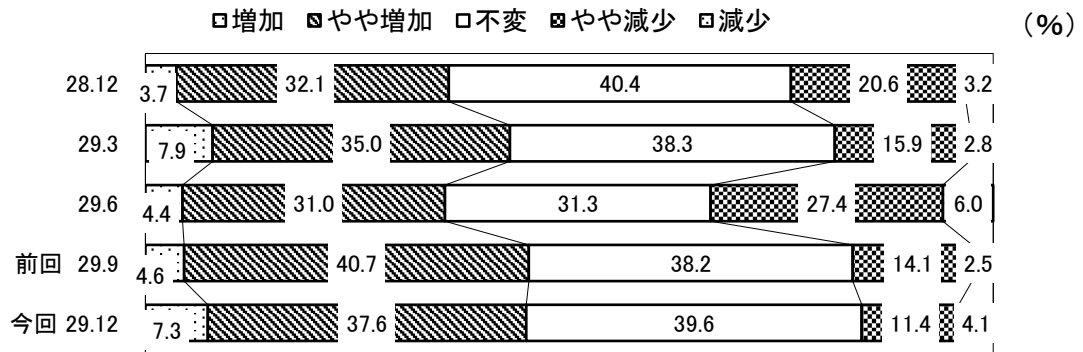
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 8.2%	4 25.0%	4 7.0%	4 6.2%	4 8.9%			4 13.8%
6~10人	28 11.4%	2 12.5%	4 7.0%	6 9.2%	5 11.1%	3 20.0%	5 27.8%	3 10.3%
11~20人	68 27.8%	1 6.3%	19 33.3%	27 41.5%	6 13.3%	1 6.7%	4 22.2%	10 34.5%
21~30人	34 13.9%	3 18.8%	12 21.1%	8 12.3%	4 8.9%	1 6.7%	2 11.1%	4 13.8%
31~50人	39 15.9%	3 18.8%	10 17.5%	9 13.8%	11 24.4%	2 13.3%	2 11.1%	2 6.9%
51人以上	56 22.9%	3 18.8%	8 14.0%	11 16.9%	15 33.3%	8 53.3%	5 27.8%	6 20.7%
合 計	245 100%	16 100%	57 100%	65 100%	45 100%	15 100%	18 100%	29 100%

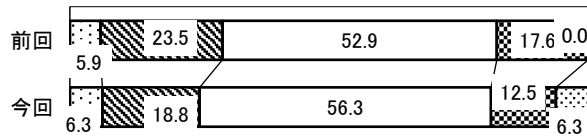
3. 調査結果

(1) 受注量について

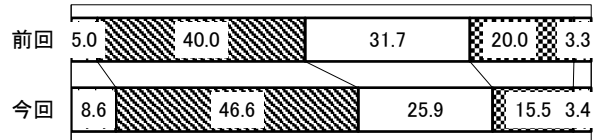
①全体



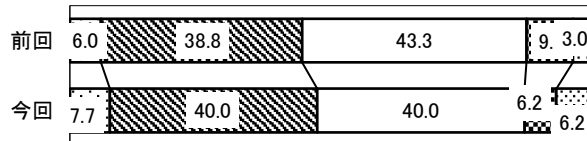
②鉄鋼・非鉄



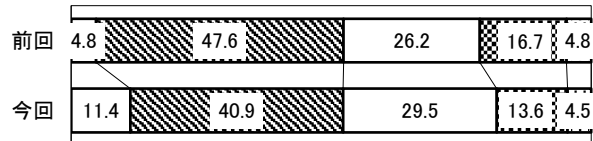
③金属製品



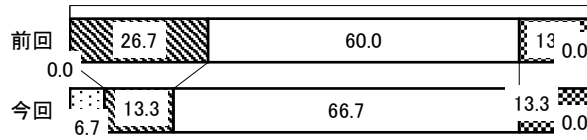
④一般機器



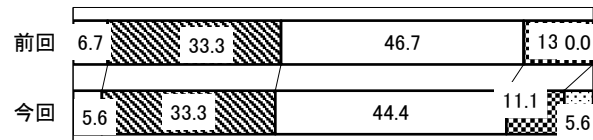
⑤電気機器



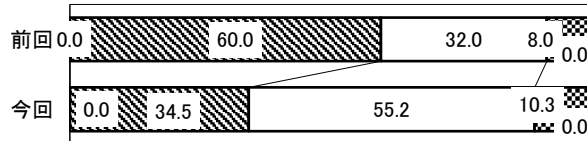
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

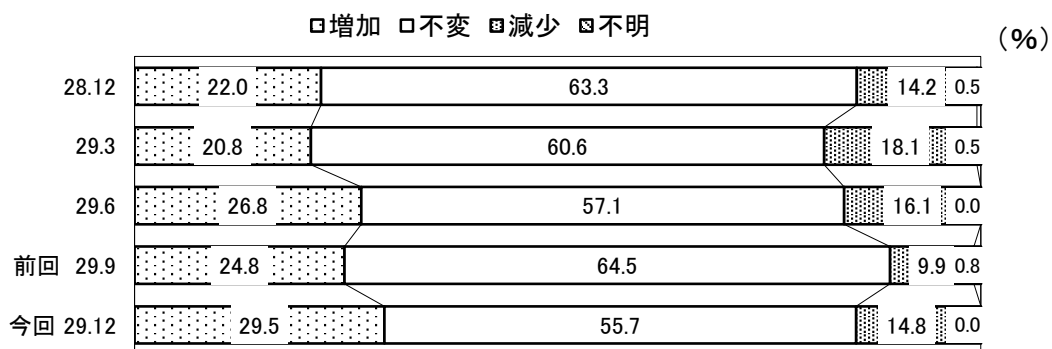
- ・10月～12月期の受注量の業況判断D1（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は29.4となり、前期（7月～9月期）のD1値28.7と比べ0.7ポイント増加、前回に続き増加基調で推移している受注量は、好調な横ばい傾向となった。

○業種別

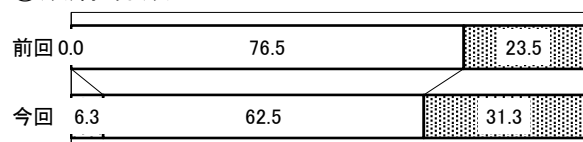
- ・D1値は、全7業種でプラスとなった。金属製品（36.3）、一般機器（35.3）、電気機器（34.2）、樹脂製品（24.2）、精密機器（22.2）、輸送用機器（6.7）、鉄鋼・非鉄（6.3）で前回に引き続きプラス。
- ・D1値を前期と比較すると、3業種でプラス値、4業種でマイナス値となった。（前回は全業種でプラス値）金属製品21.7から36.3と14.6ポイントの増加、電気機器30.9から34.2と3.3ポイントの増加、一般機器32.8から35.3と2.5ポイントの増加。
- ・精密機器で▲4.5ポイント、鉄鋼・非鉄で▲5.5ポイント、輸送用機器で▲6.7ポイントの低下。特に、樹脂製品で52.0から24.2と▲27.8ポイントと大きく低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

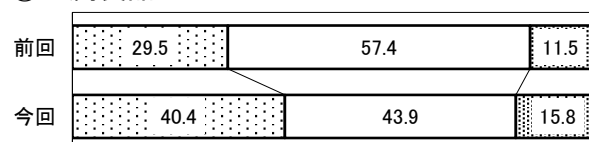
①全体



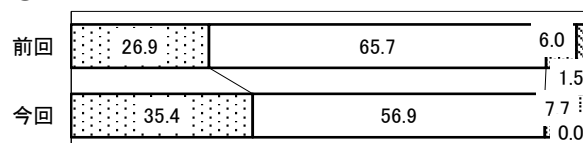
②鉄鋼・非鉄



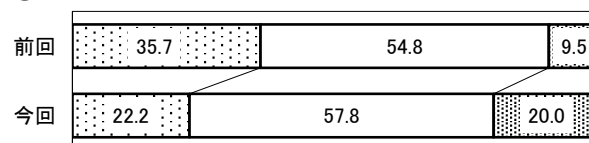
③金属製品



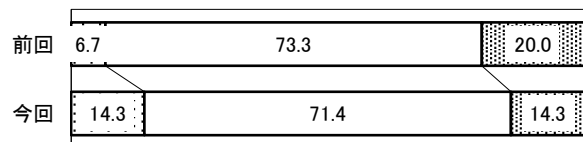
④一般機器



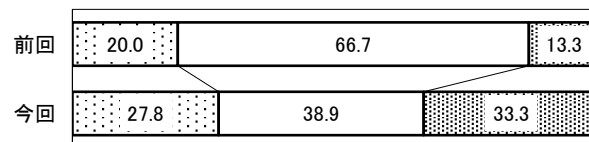
⑤電気機器



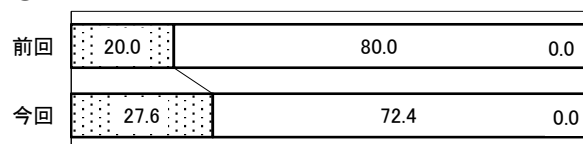
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・次期(1月~3月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は14.7となり、前期調査時のD I値14.9と比べ0.2ポイント低下した。受注量の見通しは、「減少」とする回答の割合が若干増加しているものの、「増加」とする回答の割合も増加し、近年では最も高い割合となった。

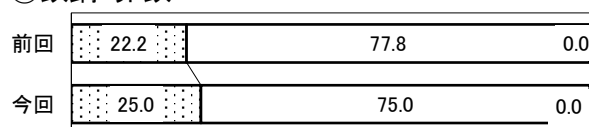
○業種別

- ・業種7分類中D I値がプラスであったのは、一般機器(27.7)、樹脂製品(27.6)、金属製品(24.6)、電気機器(2.2)、輸送用機器(±0)の5業種で、精密機器(▲5.5)鉄鋼・非鉄(▲25.0)の2業種はマイナスであった。
- ・D I値を前期と比較すると、輸送用機器で▲13.3から±0(13.3ポイント)、樹脂製品で20.0から27.6(7.6ポイント)、一般機器で20.9から27.7(6.8ポイント)、金属製品で18.0から24.6(6.6ポイント)と4業種で上昇。
- ・一方、鉄鋼・非鉄で▲23.5から▲25.0(▲1.5ポイント)、精密機器で6.7から▲5.5(▲12.2ポイント)、電気機器で26.2から2.2(▲24.0ポイント)と3業種で低下している。
- ・「増加」(6業種)と「減少」(4業種)の割合が増加した。

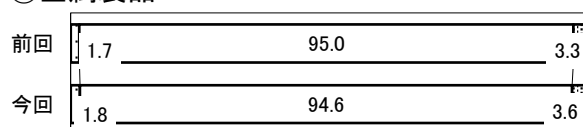
(3) 受注単価について



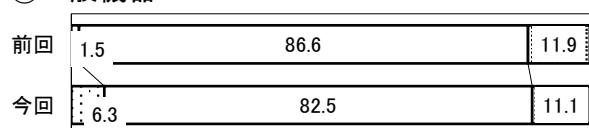
②鉄鋼・非鉄



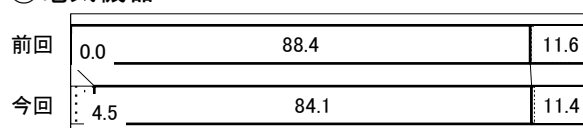
③金属製品



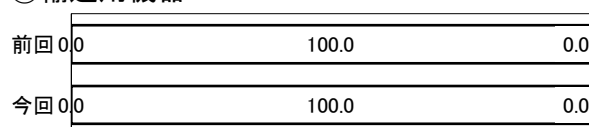
④一般機器



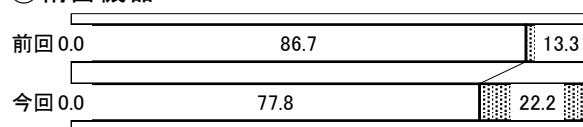
⑤電気機器



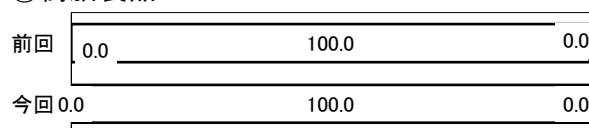
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

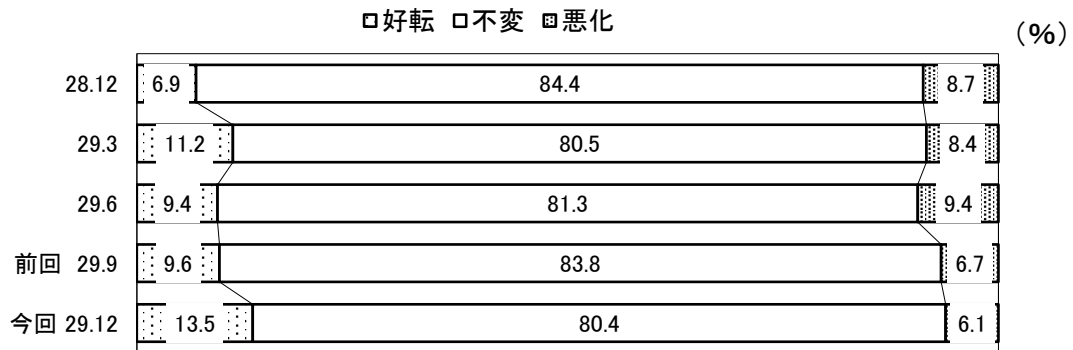
- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲2.9となり、前期（7月～9月期）のD I値▲4.6と比べて1.7ポイント上昇し、若干の上昇が見られた。

○業種別

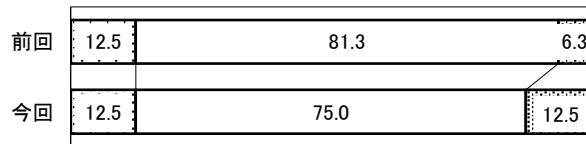
- ・7業種中、D I値は、鉄鋼・非鉄（25.0）の1業種でのみプラスとなり、金属製品（▲1.8）、一般機器（▲4.8）、電気機器（▲6.9）、精密機器（▲22.2）の4業種でマイナスであった。樹脂製品（±0）、輸送用機器（±0）の2業種は、全て「不変」との回答。前回と同様の回答結果となった。
- ・D I値を前期と比較すると、一般機器（5.6ポイント）、電気機器（4.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（2.8ポイント）の4業種で前期比プラスとなった。輸送用機器（0ポイント）、樹脂製品（0ポイント）は変化なし、金属製品（▲0.2ポイント）、精密機器（▲8.9ポイント）の2業種で前期比マイナスとなった。
- ・5業種で「上昇」の回答が増加し、金属製品、精密機器で「低下」の回答が増加した。

(4) 資金繰りについて

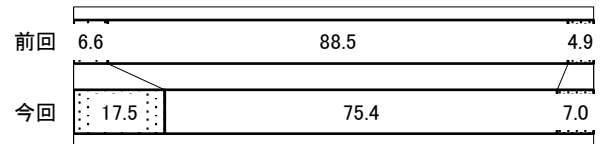
①全体



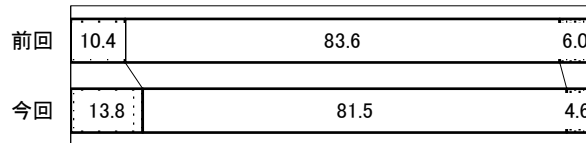
②鉄鋼・非鉄



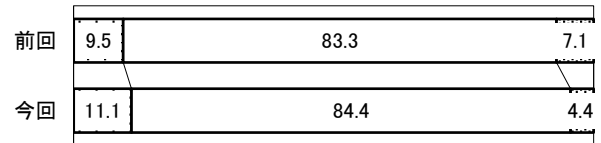
③金属製品



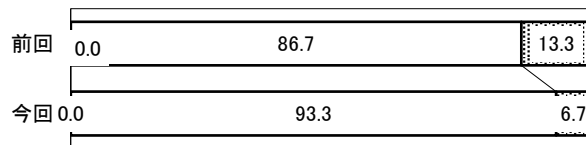
④一般機器



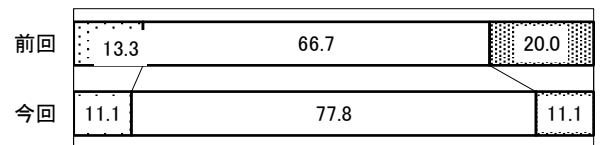
⑤電気機器



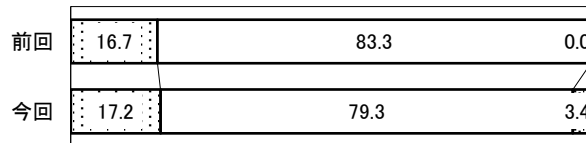
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

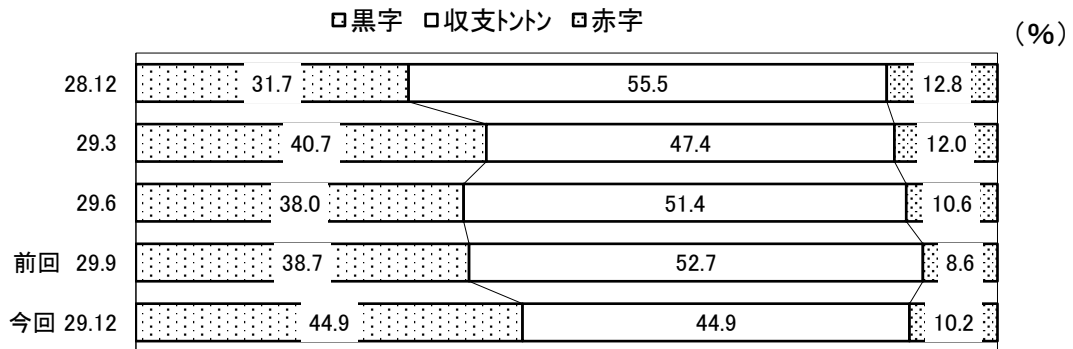
・10月～12月期の資金繰りの業況判断D1（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は7.4となり、前期（7月～9月期）のD1 2.9と比べて4.5ポイントの増加とやや改善傾向で、「好転」+「不変」の回答が、近年では最も多くなっている。

○業種別

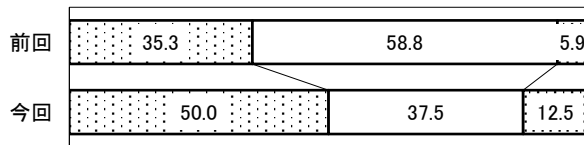
- ・業種7分類中D1値がプラスであったのは、樹脂製品（13.8）、金属製品（10.5）、一般機器（9.2）、電気機器（6.7）の4業種。鉄鋼・非鉄、精密機器は、±0、輸送用機器（▲6.7）の1業種のみマイナスとなっている。
- ・D1値を前期と比較すると、金属製品（8.8）、精密機器（6.7）、輸送用機器（6.6ポイント）、一般機器（4.8）、電気機器（4.3）の5業種で上昇しており、樹脂製品（▲2.9ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲6.2ポイント）の2業種が低下している。

(5) 採算状況について

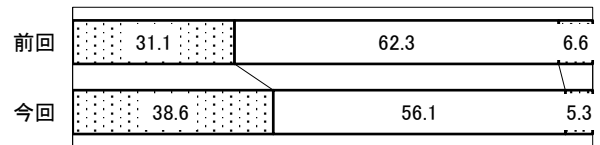
①全体



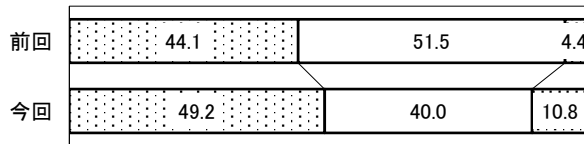
②鉄鋼・非鉄



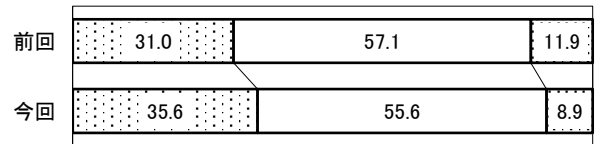
③金属製品



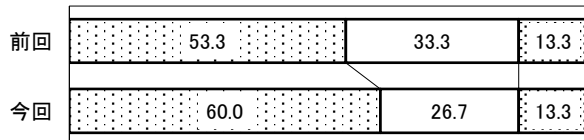
④一般機器



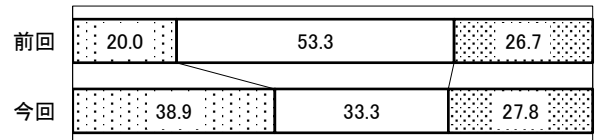
⑤電気機器



⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・10月～12月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は34.7となり、前期（7月～9月期）のD I値30.1と比べ4.6ポイント上昇し、近年では「黒字」企業が最多となっている。

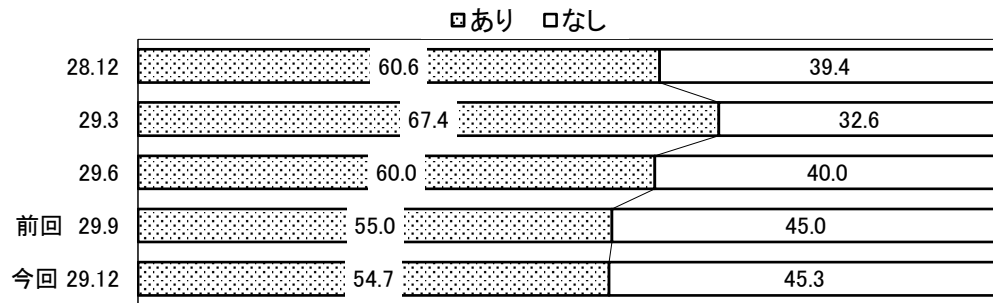
○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（48.3）、輸送用機器（46.7）、一般機器（38.4）、鉄鋼・非鉄（37.5）、金属製品（33.3）、電気機器（26.7）、精密機器（11.1）と全7業種でプラスとなった。
- ・前回到引き続き、黒字企業が増加したが、反面、赤字企業も増加した。
- ・D I値を前期と比較すると、精密機器（17.8ポイント）、金属製品（8.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（8.1ポイント）電気機器（7.6ポイント）、輸送用機器（6.7ポイント）の5業種で改善傾向が見られたが、一般機器（▲1.3ポイント）、樹脂製品（▲3.7ポイント）の2業種は、悪化傾向となった。
- ・樹脂製品では、「黒字」企業が減少。
- ・鉄鋼・非鉄、一般機器、精密機器の3業種では、「黒字」企業が大きく増加する一方、「赤字」企業も増加している。

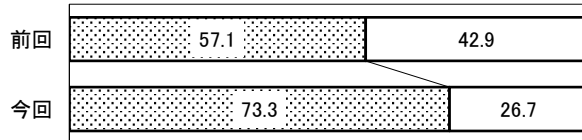
(6) 受注余力について

(%)

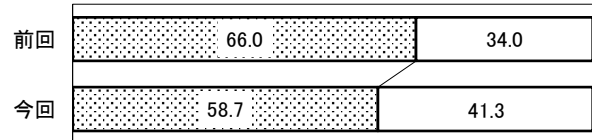
①全体



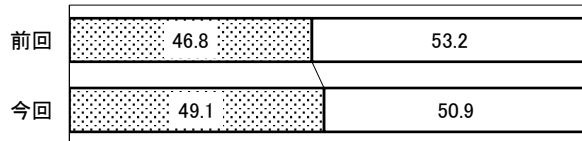
②鉄鋼・非鉄



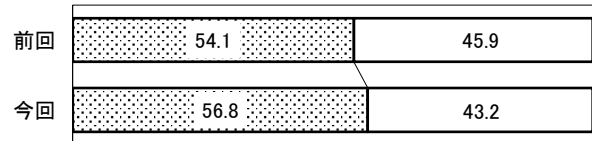
③金属製品



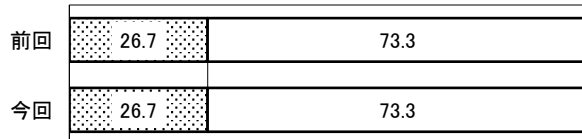
④一般機器



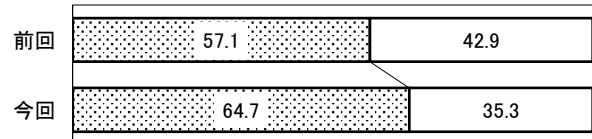
⑤電気機器



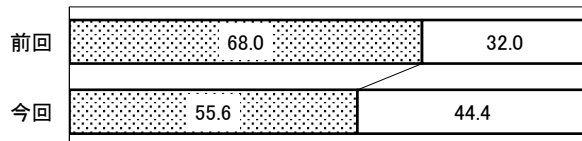
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- 10月～12月期の受注余力の業況判断DⅠ（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は9.4となり、前期（7月～9月期）のDⅠ値10.0と比べ0.6ポイント下降した。（「受注余力なし」企業が増加した＝プラス傾向）
- 10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が54.7%と、前期と比較して0.3ポイントの減少となり、前回は引き続き、近年では最も少ない。

○業種別

- 業種7分類中DⅠ値がプラスであったのは、鉄鋼・非鉄（46.6）、精密機器（29.4）、金属製品（17.4）、電気機器（13.6）、樹脂製品（11.2）の5業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。一般機器（▲1.8）、輸送用機器（▲46.6）の2業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。
- DⅠ値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（32.4ポイント）、精密機器（15.2ポイント）、電気機器（5.4ポイント）、一般機器（4.6ポイント）の4業種は、前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。
- 輸送用機器（±0）は、前回と変わらず、金属製品（▲14.6ポイント）、樹脂製品（▲24.8ポイント）の2業種は、前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp